



相手に生きる

学校教育目標 「相手に生きることによって自己を生かす」
西中スタンダード 「あいさつ」「歌」「清掃」「花」「服装」「時間」

全国学力・学習状況調査の結果について

4月17日に3年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査について、本校の結果は以下のとおりです。結果の分析をもとに、今後も授業の改善・充実に向けて取り組んでいきます。

1 教科に関する調査

本校の調査結果については、国語A・B、数学A・B、理科すべてで全国、県平均と同程度の結果となりました。各教科の概要は次のとおりです。

【国語】

○A問題（主として知識）

- ・文脈に即して正しく漢字を読むことや慣用句の意味を理解することはできています。
- ・伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書くことはできています。
- ・目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くことに課題があります。
- ・文脈に即して漢字を正しく書くこと、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことに一部課題があります。

○B問題（主として活用）

- ・場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解することはできています。
- ・文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉えることはできています。
- ・文章の構成や展開について自分の考えをもつことに課題があります。
- ・質問の意図を捉えることに一部課題があります。

【数学】

○A問題（主として知識）

- ・数直線上に示された負の整数を読み取ることや数量の大小関係を不等式に表すことはできています。
- ・証明の必要性和意味を理解しています。
- ・線対称な図形、点対称な図形の理解や回転移動した図形をかくことに課題があります。
- ・一次関数のグラフの特徴や連立二元一次方程式の解とグラフの関係の理解に課題があります。
- ・確率の意味の理解や表などを利用して、確率を求めることに課題があります。

○B問題（主として活用）

- ・証明を振り返り、証明した事柄を基にして、新たな性質を見いだすことができています。
- ・事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することや付加された条件の下で、新たな事柄を見いだし、説明することに課題があります。

【理科】

- ・化学変化には熱の出入りが伴うという知識と、考察したことを適切に表現する技能を活用することができています。
- ・神経系の働きについての知識や電流計の電気用図記号の知識が身に付いています。
- ・光の直進や反射の幾何光学的な規則性についての知識・技能の活用に課題があります。
- ・1つの要因を変えるとその他にも変わる可能性のある要因を指摘することに課題があります。

2 生徒質問紙調査

生徒の学習への関心や、学習習慣、価値観等をアンケート形式で調べた調査です。全国、県の結果と回答状況に大きな差が見られる内容から、本校生徒の特徴的な姿をまとめました。

- ・「毎日、決まった時間に就寝・起床する」「朝食を毎日とる」という習慣がついていて、基本的な生活習慣が確立されています。また、「地域の行事に参加している」生徒が約80%、「地域や社会で起きている問題や出来事に興味がある」生徒が約70%いて、いずれも県平均、全国平均を大きく上回っています。地域で育てていただいていることが表れている数値です。

- ・「人の役に立つ人間になりたい」と思っている生徒が非常に多く、また、90%を超える生徒が「いじめは、どんな理由があってもいけない」と答えています。
- ・「学校の宿題をしている」状況は、全国・県平均とほぼ同じ水準ですが、「自分で計画を立てて勉強している」生徒は36%で、全国・県平均の約7割、「授業の予習や復習をする」生徒は26%で、県平均の5割強、全国平均の5割弱と大きく下回っており、与えられた課題には取り組めるが、自分で考えての学習にはなっていないようです。
- ・「家庭学習を1日2時間以上する」生徒は20%弱で、県平均の5割強、全国平均の5割弱です。半数近くの生徒が「家庭学習は1日1時間未満」という回答でしたので、全体的に家庭学習の時間が少ないことがわかります。この実態の背景として、「家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている」割合が放課後83%、週末92%と県平均や全国平均を大きく上回っており、テレビやゲーム、インターネットが学習時間を奪う一因となっていることが伺われます。
- ・本年度は、数学と理科の学習について尋ねる質問がありました。「数学の勉強が好き」「数学の授業の内容がよく分かる」「理科の勉強が好き」「理科の授業の内容がよく分かる」と回答した生徒の割合は、いずれも全国・県平均を大きく上回っています。本校職員の教材研究や授業改善の成果であるとともに、「自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがある」生徒の割合が全国・県平均より10ポイント以上高いことが、理数教科への意欲や関心に結びついていると推察されます。

3 今後の対応

本校生徒の学力向上を図るため、以下のことを大切に考えていきます。

- ・基礎的・基本的な内容の定着を図っていきけるように、引き続き、学習習慣の確立と家庭学習の充実につながるよう指導していきます。
- ・日々の授業の中で、「根拠をもって自分の考えを書いたり説明したりする力」や「必要な情報を得て、整理して考える力」がついていくように、学習課題を工夫したり、生徒同士で学び合えるような活動場面を設定する等の授業改善に努めてまいります。

運動部 新人大会の結果

＝ 北信大会 ＝

種目	期日	結果
男子バスケットボール	11月10日	トーナメント1回戦 ×32-57 対篠ノ井東
女子バスケットボール	～11日	トーナメント1回戦 ×18-103 対若穂
男子バレーボール	11月17日	トーナメント1回戦 ○2-0 対裾花 2回戦 ×0-2 対広徳・中条・飯綱
女子バレーボール	～18日	トーナメント2回戦 ×0-2 対長野北部

＝ 県大会 ＝

種目	期日	結果
ハンドボール (男子)	11月10日	トーナメント1回戦 ○27-26 対長峰 準決勝 ×15-42 対埴生 3位決定戦 ×29-32 対屋高附属 【4位】
ハンドボール (女子)	～11日	トーナメント1回戦 ○26-15 対茅野東部 準決勝 ×13-15 対埴生 3位決定戦 ○36-17 対戸上 【3位】

【お知らせ】 一昨年より生徒の安心・安全な活動のため、また、国や県の指針を受けて、「部活動の適正化・見直し」の取組を行っています。協議を重ね、精選のめやすに照らして、平成30年度に合唱部・柔道部の募集を停止しました。平成31年度は、サッカー一部の募集を停止する予定です。なお、現在の部員については、継続・転部等、個々の希望を大切にしてお応じてまいります。

(文責：教頭 宮澤)